

# 月刊むらびいと 9

題字：大東又四郎さん

2015.7

発行 南山城村  
道の駅運営準備室  
0743-93-1392  
発行日 2015.7.1  
通算 0009号

「むらびいと」とは、村人とBEATをかけた「村人とその鼓動(生き様)」を表す造語です

商品企画室WS  
2015年

## 自分のコンセプトを 見つけよう！

6月4日に第1回目のワークショップを開催しました！

商品企画室ワークショップ  
コンセプト作り！  
商品を作る以前に  
自分たちのことを  
考えましょう！

① たなへ  
商品企画室ワーク  
コンセプト作り！  
商品を作る以前に  
自分たちのことを  
考えましょう！

② どれを買ったの  
いいのかわからない  
どれも似ている、想いが伝わらない

③ コンセプトが  
商品企画や  
パッケージに  
繁栄されているね！

④ コンセプトとは「ブレない想い」!!  
想いと、それを形にした商品がファンづくりに繋がる!!  
(→それが「ブランド化」に繋がる!)  
※逆にブレると信頼度がさがってしまう

⑤ さあ！  
コンセプトを  
作ってみよう！

⑥ 「大おばびいとの  
恵みを頂く」  
村の長寿の方々が作った  
野菜や知恵を活かした  
商品づくりを大事にしたい！

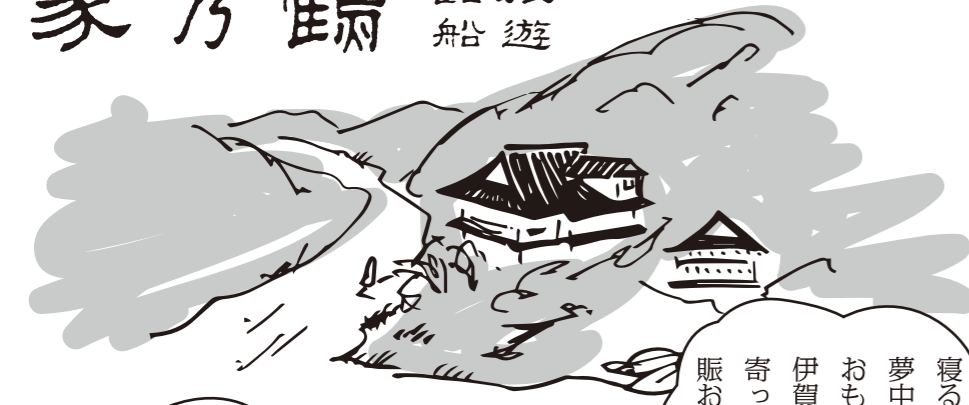
⑦ このコンセプトを  
もとに商品企画や  
デザインを進めて  
いきます！次回は  
7/2に試食会を  
開催します！

⑧ 大事なことは  
疑問を持つこと！  
「なぜ？」を  
繰り返し発見に  
繋がります！

## 夏といえは川！ 木津川の魅力を 掘り起こそう！

木津川の景色と言えは、夢絃峡温泉「鶴乃家」！  
女将さんにお話を伺いました！

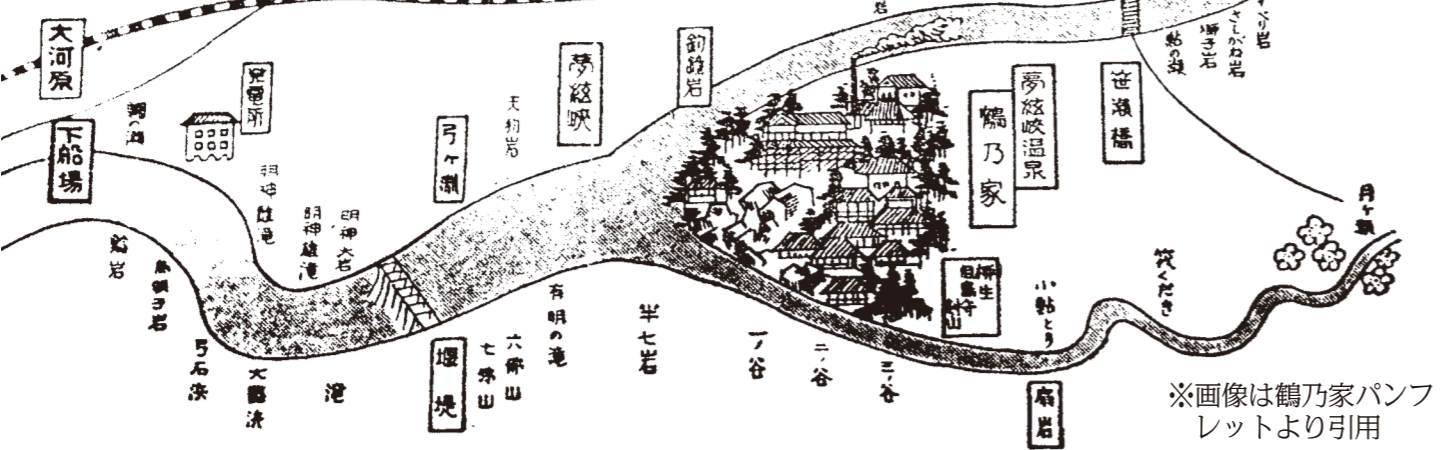
夢絃峡温泉 旅館 鶴乃家



寝る間もなく  
夢中になってお客様を  
おもてなしたなあ。  
伊賀ラインのお客さんがよう  
寄ってくれたわ。ものすごく  
賑わうて嬉しかったなあ。

料理は、川の幸としては  
「鯉のあらじ」が喜ばれたな。  
鯉の量がとれへんくなって、  
宿を休む少し前くらいから  
伊賀から仕入れるように  
なったんやで。さみしかったわ。

お話をしている  
女将さんの、木津  
川に注がれる視線の  
先に当時のにぎわい  
がうつっているよう。  
残念ながら今は休業中。  
この歴史あるすばらし  
い建物、南山城村の財産  
として残ってかつての生  
活を伝えていきたいで  
す。(野内)



※画像は鶴乃家パンフレットより引用

### 編集後記

早いものでもう夏が到来！私は以前京都市内に住んでいたのですが、この時期は鴨川の川床を思い出します。今回のむらびいの特集は木津川。残念ながら今は木津川と暮らしの接点がありません。そのためか水質もなかなか良くならず…。なんとか木津川に目を向けることは出来ないかなあ。今回、お伺いした鶴乃家さん。そこの大広間からみる景色は、まさに山紫水明。田邊くんの描く「沈カフエ」も色々な妄想をかき立てられます。村の景色になくはならない木津川、みなさんはどんな妄想をしますか？(みやた)

村人 X の親父ギャグ★ もう梅雨が明けて初夏でしょか？

### イベント情報

7/12 茶農家と楽しむ手もみ茶づくり  
(10:00~16:30 自然の家・有料)  
茶畑を見学し、ホットプレートで手もみのお茶を作ります。お昼付。

7/26 京村まつり  
(10:00~15:00 直売所前)  
(道の駅準備室も出店します！)